

とよOH! げんKIDS

令和4年3月

豊郷中央小 保健室



おうちの人といっしょによんでね。

今月の保健目標

- ・耳を大切にしよう
- ・健康生活の反省



梅の花が咲いているのを見つけました。寒い日々の中にも春の足音を感じる今日この頃です。

3月、1年間のまとめの時期となりました。保護者の皆様には、お子様の学校でのけが・体調不良時のお迎えなど、速やかな対応をしていただき、ありがとうございました。

テレビなどの音を大きくしないと聞こえない

自分の声が途切れたり、ひびくような声に聞こえる

「キーン」「シーン」などの音が常に鳴っている

耳の異常信号
あなたは大丈夫?

耳の病気は発見が遅いほど重大な病気になってしまうことも! 「おかしいかな?」と思ったら、早めに耳鼻科で診察を!

会話を聞き直すことが多い

高い音や低い音だけが聞きにくい

時々ふさがっている感じがする

マスクで困っている人に…手話を使ってみよう!

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの生活も少しずつ変わりましたね。感染拡大を予防するマスクですが、耳に障害がある人には、表情や口の動きが読み取れなくなり不安を感じているそうです。

困っている人を見かけたら、こんな手話を使ってみてはどうでしょうか。



「お願いします」と返事があれば、近くの大人の人に協力してもらう、紙に書いて話をするなど、自分たちにできるお手伝いをしてあげてくださいね。

早寝早起きができた



1年間 心も体も

元気に過ごせましたか？



友だちと仲よくできた



好き嫌いしないで食べた



元気に体を動かした



手洗いをがんばった



歯みがきをきちんとした



毎日、ハンカチ・ティッシュを持っていた



親子で感謝を伝えあおう

「よくできたね」と褒めるのではない。

「ありがとう、助かったよ」と感謝を伝えるのだ。

感謝される喜びを体験すれば、自ら進んで貢献をくり返すだろう。



オーストリアの心理学者、アルフレッド・アドラーの言葉です。

お子さんにとって、褒められるのはうれしい。でも、同じ目線に立って感謝を伝えてもらえる「ありがとう」は、もっとうれしい。そして、たくさん「ありがとう」と言われるほど、人にも優しくなれるのではないのでしょうか。

3月9日は「サンキューの日」。ぜひ、おうちでも実践してみてくださいね。



新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症予防の対応については、皆さん、本当によくがんばりました。ていねいな手洗いや毎日のマスク着用など、感染症にかからないように努力したことを、1つでも思いつく人は、自分に☆はなまる☆をあげてください。まだまだウイルスとの戦いは続きそうですが、新しい学年はもっともっと充実した1年になりますように…。春休みのうちに元気をたくわえておいてください。

また保護者の皆様には、日頃の感染予防対策とともに緊急下校・学年休業では、大変お世話になりました。今年度、特に2月には多くの休業措置となってしまいましたが、幸い校内での感染拡大にはならず済みました。今後もご協力をいただきながら、感染予防に努めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

☆ワクチン接種について

5～11歳のワクチン接種も受けることができるようになりました。ワクチン接種は強制

ではありません。受けるかどうかは、説明書等をご覧になり、おうちの方・お子様と一緒にご検討ください。

子どもに対する新型コロナワクチンの有効性・安全性などの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 子ども

検索

ホームページをご覧にならない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

